

名古屋大学大学院生命農学研究科

応用生命科学専攻植物系教授公募要領

1	募 集 件 名	教授の公募
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構
3	所 属	名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] 名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。 応用生命科学専攻においては、農学分野における多様な生命現象の機構を最先端の生命科学と分子科学の理論と技術により解明し、その応用展開の基盤を作るための教育研究を推進しています。 本公募では、植物科学分野の教授を募集します。植物は、内的および外的環境変動を感知し、器官発生や成長を制御する多様なしくみを備えています。それらのしくみを分子から細胞・個体レベルで解明することは、植物の生理を統合的に理解し、生産性の向上を図る上で極めて重要な基盤知識となります。そこで、当該分野において優れた研究実績をもち、さらにそれを発展させた革新的な研究を推進して、本専攻の研究教育の発展に貢献できる人物を求めます。関連領域の教養教育、学部・大学院専門教育および研究指導に加え、組織の管理・運営にも熱意と責任感をもってあたる人物が望まれます。 【担当する業務】 （雇入れ直後） ・植物生理学の視点に立った、生産性の向上の基盤となる機構の解明研究の推進 ・生命農学研究科の運営への積極的な取り組みによる本研究科ミッション達成への貢献 <担当授業科目> （1）大学院 ・博士前期課程：生命農学演習、修士論文研究、植物関係の特論 等 ・博士後期課程：博士論文研究 （2）学部 ・専門分野に関連する専門基礎科目および専門科目、全学教育科目、実験実習、専門セミナー、卒業論文研究 等 （変更の範囲） ・東海国立大学機構が指定する業務 [勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所

		[募集人員] 教授・1名	
		[着任時期] 2027年 4月1日以降	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	農学、生物学
		小分類	応用生物化学、応用分子細胞生物学、植物分子および生理科学関連
6	勤 務 形 態	常勤 契約期間：期間の定めなし 試用期間：あり（採用日から6か月）	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者 ・植物成長制御や環境応答に関わる生理機構の分子レベルでの解明研究を専門分野とし、優れた研究業績を有する者 ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感を持って取り組むことができる者 ・関連する科目あるいは基礎的科目などの教育経験があることが望ましい	
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止	
9	応 募 期 間	2026年 8月 7日～2026年 10月 19日 13:00 厳守（日本時間）	
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] [提出書類] （1）応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） （2）履歴書（任意様式） （3）研究業績リスト（任意様式 ただし論文業績は「原著論文」、「総説」、「その他出版物」に分け、責任著者に*をつけること） （4）現在までの研究の概要（2,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと） （5）今後の研究に関する計画と抱負（2,000字程度） （6）大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（1,000字程度） （7）過去10年間の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と直接経費金額を明記のこと） （8）大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え（1,000字程度） （9）その他（教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項） （10）応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス	

		(11) 類型該当性の自己申告書と類型該当判断のフローチャート (https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html から様式をダウンロードして作成すること。「11. その他」欄を参照のこと。) (12) 論文等の PDF ファイル (主要なもの 10 編程度) [書類送付先] (1) ~ (11) の提出書類を一つの PDF ファイルにまとめ、主要論文 (12) の PDF ファイルとともにフォルダに入れ、圧縮 (ZIP 形式) フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。メールのタイトルは「応用生命科学専攻植物系教授応募 (応募者氏名)」としてください。また、ファイルサイズは全体で 60 M バイトを超えないようにしてください。やむを得ず超えてしまう場合には、ファイルを複数のメールに分割し、その旨を明記ください。添付ファイルのサイズが大きい場合、E-メールで受信できない可能性がありますので、可能な限りファイル共有サーバーをご使用くださるようお願いいたします。 ※ 応募書類受領確認のメールをしますので、募集締切後、一週間を過ぎても受領確認の連絡がない場合には、委員長まで電子メールにてお問い合わせください。 書類の送付先アドレス (電子メール) : kobo_p[at]agr.nagoya-u.ac.jp ([at]を@に置き換えてください) [問い合わせ先] 名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻植物系教授選考委員会 委員長 榊原 均 電子メール : sakaki[at]agr.nagoya-u.ac.jp ([at]を@に置き換えてください)
		[選考内容 (選考方法、採否の決定)] ・書類選考の上、面接を実施する場合があります。なお、面接を実施する際の交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。
11	そ の 他	・今回選考する教授と協働して研究室を運営する教員の採用については、専攻の人事計画の中で検討しています。詳細は委員長にお問い合わせください。 ・名古屋大学は研究業績、教育業績、社会的貢献、人物等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分します。 ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」(外為法) に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んで

		います。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWebサイト:https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言: https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
--	--	--